

年間授業計画 新様式

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科： 国語 科目： 文学国語 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：足立）（2組・3組・4組：石井）（5組・6組・7組・8組：松村）

使用教科書：（文学国語／東京書籍 東書文国701）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話	書	読					
1 学 期	【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きたこと」と「言葉」の関係について理解を深める。	「言葉を生きる」（若松英輔） 教科書・副教材 プリント I C T 機器			○	【知識】 ・言葉には、想像や心像を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成を捉えて、内容や構成、展開、筋の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語彙の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係性を捉える。作品の価値を捉えている。 【主】 繰り返し読む作品の心情を捉え、学習課題に沿って主人公の内面や苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	○	○	○	3
	【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。	「山月記」（中島敦） 教科書・副教材 プリント I C T 機器			○	【知識】 ・言葉には、想像や心像を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成を捉えて、内容や構成、展開、筋の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語彙の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係性を捉える。作品の価値を捉えている。 【主】 繰り返し読む登場人物の心情を捉え、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】【学びに向かう力、人間性等】 ・表現された内容を読み取り、描かれた行動や言葉から「わたくし」の妹に対する思いを解釈する。	「永訣の朝」（宮澤賢治） 教科書・副教材 プリント I C T 機器			○	【知識】 ・言葉には、想像や心像を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成を捉えて、内容や構成、展開、筋の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語彙の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【主】 繰り返し読む作品に表現された内容を捉え、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える表れた表現を見つくりようとしている。	○	○	○	3
	【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】【学びに向かう力、人間性等】 ・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。	「鞠」（安部公房） 教科書・副教材 プリント I C T 機器			○	【知識】 ・言葉には、想像や心像を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成を捉えて、内容や構成、展開、筋の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語彙の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品の多様性について考察している。 【主】 繰り返し読む作品に表れているものを読み取り、学習課題に沿って作者が描こうとした意図について考え、内	○	○	○	6
	【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。	「文学の未来」（小野正嗣） 教科書・副教材 プリント I C T 機器			○	【知識】 ・言葉には、想像や心像を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成を捉えて、内容や構成、展開、筋の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語彙の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品の多様性について考察している。 【主】 繰り返し読む文学作品とテキスト、読者の関係について筆者の考えを読み取り、学習	○	○	○	6
2 学 期	定期考査						○	○		1
	【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】【学びに向かう力、人間性等】 ・人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。	「こころ」（夏目漱石） 「山月記」（中島敦） 教科書・副教材 プリント I C T 機器			○	【知識】 ・言葉には、想像や心像を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成を捉えて、内容や構成、展開、筋の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語彙の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品の多様性について考察している。 【主】 繰り返し読む作品の心情を捉え、学習課題に沿って主人公の内面や苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
	【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】【学びに向かう力、人間性等】 ・長い時間をかけて深まってきた筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考える。	「クレールという女」（須賀敦子） 教科書・副教材 プリント I C T 機器			○	【知識】 ・言葉には、想像や心像を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成を捉えて、内容や構成、展開、筋の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語彙の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品の多様性について考察している。 【主】 繰り返し読む作品の読書体験を読み取り、学習課題に沿って人間の生き方について、自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	3
	【知識及び技能】【思考力、判断力、表現力等】【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。	「檸檬」（梶井基次郎） 教科書・副教材 プリント I C T 機器			○	【知識】 ・言葉には、想像や心像を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成を捉えて、内容や構成、展開、筋の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語彙の豊かさや心像の機微を養う語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き読感を豊かにしている。 ・文学的な文章における文脈の特徴や語彙などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品の多様性について考察している。 【主】 繰り返し読む「私」の行動や心理を表現に即して読み取り、学習課題に沿って「私」の心情の揺れ方について考え、話し合おうとしている。	○	○	○	6

[illegible]